帝京大学ちば総合医療センターの移転について

当センターは1986年（昭和61年）に「帝京大学医学部附属市原病院」として開院し、これまで幾度かの増改築を続け今日まで診療を続けて参りましたが、築37年が経過し建物の老朽化及び昨今の医療情勢の変化への対応等の問題から、この度「市原市ちはら台地区」へ新築移転をすることを決定いたしました。

新築移転する病院は、ちはら台地区中心部に位置する帝京平成大学ちはら台キャンパスグラウンド敷地（野球場敷地）に建設を予定しております。移転建築により現病院の診療機能を損なうことなく新病院の建築が可能となることや帝京平成大学（医療系学部）に並立することで今後の医療従事者の確保も進め易くなることが期待されます。

現時点での病院規模は基本構想、設計段階の検討中ではありますが、病床数350床、地上7～8階の構造物として想定しております。また開院時期については2028年～2029年を予定しております。

病院長　井上　大輔